

第4回定例会

【可決された議案】

平成21年度一般会計補正予算

次の内容で総額79億3,395万円を補正するものです。

- ①臨時職員の雇用や事業者への委託による、合計116人分の緊急雇用創出事業の実施
- ②景気悪化の影響により受給者が増加したため、不足することとなった生活保護費の追加など

札幌市バスターミナル条例を廃止する条例

バス発着回数の増加や使用料の見直しなどにより一定の収益が確保され、今後も安定した運営が見込まれることから、平成22年4月1日に大谷地バスターミナルに関する事業を、本市から民間事業者へ譲渡するものです。

このほか、公の施設の指定管理者の指定など、合計66件の議案が可決されました。

子どもの権利委員会

おぐら なほこ
小倉 菜穂子
市民ネット



問11月に設置された「子どもの権利委員会」が、子どもの委員が大人に遠慮することなく、積極的に発言できる場となるよう、どのように取り組むのですか。

答大人の委員の協力も得ながら、分かりやすい会議資料の作成や、子どもが意見を言いやすい雰囲気づくりなどに心掛けていきたいと考えています。

問子どもの意見を反映するには、常設の「子ども委員会」を設置して、子どもの権利委員会をバックアップする必要がありますが、いかがですか。

答子どもの権利委員会を中心に、子どもだけで構成する会議を随時開催するなど、子どもの声を聞くさまざまな機会を設けていきたいと考えています。

住宅エコリフォーム条例の取り組み

むらかみ ひとし
村上 仁
共産党



問本定例会で可決された(通称)「住宅エコリフォーム条例」は、環境負荷が少なく、安全・安心で快適な住環境の創出を主な目的としています。この条例に基づき、住宅リフォームを促進するために必要な助成制度などの支援策を、来年度予算に盛り込んで、直ちに実施すべきと考えますが、いかがですか。

答住宅のバリアフリー化や環境負荷の少ないエネルギーを導入するための改修工事については、国の支援策のほか、本市が既の実施している事業などがあります。これらの位置付けを整理した上で、市内産業の活性化にもつながる効果的な方法を検討し、住宅リフォームの促進に努めていきたいと考えています。

委員会の主な活動状況

[12/5~1/10]

文教委員会

さっぽろ子ども未来プラン(後期計画)素案について、子ども未来局から説明を受け、質疑を行いました。(12/8)

厚生委員会

「精神障害者にも『運賃割引制度』の適用を求める陳情」の審査を行い、継続審査としました。(12/8)

「札幌市老人クラブ連合会への天下りの即時中止を求める陳情」の審査を行い、不採択とすべきものと決定しました。(12/10)

建設委員会

豊平川雨水貯留管事業について、建設局から説明を受け、質疑を行いました。(12/8)

経済委員会

北海道観光事業株式会社に関する報告について、観光文化局から説明を受け、質疑を行いました。(12/25)

議案審査のための常任委員会

関係する各常任委員会において、それぞれ審査を行いました。(12/8)

平成22年第1回定例会のお知らせ

第1回定例会は、2月16日(火)から3月30日(火)まで開かれ、各会派の代表質問は2月22日(月)から3日間行われる予定です。



議会事務局からのお知らせ

●本会議のインターネット録画中継が始まります

議会情報を速やかにお伝えするため、本市議会ではインターネット議会議中継を行っています。従来の「ライブ中継」に加えて、平成22年第1回定例会から「録画中継」を実施することになりました。議場へ傍聴に来ることができない方も、開会中にリアルタイムで、あるいは、お好きな時間に録画で、本会議をご覧いただくことができます。市議会ホームページから「議会議中継」をクリックして、ぜひ一度ご覧ください!

編集/札幌市議会事務局
☎211-3164 FAX218-5143
市議会ホームページアドレス
www.city.sapporo.jp/gikai

藻岩山の再整備

ほりかわ もとひと
堀川 素人
改革維新の会



問市長は以前、山頂まで直接行ける「直登ルート」を望んでいたと聞いていますが、なぜ断念したのですか。

答直登ルートは利便性が高く、非常に魅力的な方法ですが、実現するには天然記念物の樹木を伐採しなければなりません。わたしたちの祖先が大事にしてきた貴重な木々を伐採することはできないと考え、直登ルートを断念しました。

問現在進めている再整備計画を凍結し、市民と共にもう一度検討すべきと考えますが、いかがですか。

答施設が老朽化し、市民からもバリアフリー対応などの改修が求められているため、早急に事業を進める必要があると考えています。